



原動力は好奇心!

～パリに来て思うこと～

デザインチーム/
広報部

坂東昌子



イラスト：坂東昌子

私がフランスに住み始めたのは、今から6年前。スーツケース2つと大きなMacをかかえて、一人でやってきました。その数年前までデザイン会社に勤め、朝から夜中まで働き、家には寝に帰るだけの毎日。週末もGWもありませんでした。いくら好きな仕事とはいえ、さすがに「こんな生活では、あつという間に60歳を迎えてしまう、このままでいいのだろうか?」と考え始め、その後退職してフリーランスのデザイナーとして仕事をするようになりました。顧客もいない0からの出発でしたが、運良く口コミで仕事が増えるようになりました。

退職して自由な時間が少し増えた私は、数回旅行でパリにやってきました。その旅行中もMacBookさえあれば、問題なく仕事のできたので、だんだんと「もしかして、パリに住めるかもしれない」と思うようになりました。思うようになったと同時に、決めたような気がします。長く住めるかどうかわからないけれど、とにかくやってみよう、とまずは学生ビザで2年間住み、次に個人事業主として住めるビザを取得して今に至ります。

6年前、シャルル・ド・ゴール空港に明け方到着した時のことを今でもよく覚えています。家族を置いて無理矢理来てしまったけれど、よかったのだろうか?本当にやっていけるのだろうか?・・・でも、不安よりも好奇心の方が圧倒的に勝っていました。目の前に扉を見つけると、開けてみたくなってしまふ性分のです。

それから数年経ち、私はパリに来て十分幸せ!と思うようになった頃、「じぶんブランド革命プロジェクト!」に出会いました。また新しい扉を見つけてしまったわけです。

「いったいどんなことをするんだろう?」という好奇心にほ

かなりませんでした。時差のため仮眠して夜中に起きて参加したグルコン、かなりの枠超えだったチャレンジ期間。100%以上自分を出し切った気がします。頂上からの眺めは、本当に素晴らしかった。「じぶんブランド革命プロジェクト!」に会う前も十分幸せだと思っていたけれど、もっとキラキラした景色が見えました。株式会社OnLineの一員としてお仕事させていただいているのも、不思議なご縁を感じます。何より『本来の自分』で生きている人たちと関われるのが嬉しい。株式会社OnLineの仕事はタイトスケジュールが多いですが、私にとって仕事とは「締め切りのある遊びのようなもの」なので、全く苦ではありません(笑)。今はどこにいても仕事ができる時代。特にパンデミック以降、それが更に明確になったのではないのでしょうか。働き方については、むしろたくさんの可能性を見つける機会になったと思います。

「じぶんブランド革命プロジェクト!」が終わった頃、私はこれまでの自分のことを本にまとめ、AmazonKindleから出版しました。予想以上に反響があり、たくさんの感想のメールをいただくようになりました。ずっとやりたかったことを先延ばしにしてきた人や、前に進みたいのにどうしていいかわからない、そんな人たちに私が書いたことが響いたようでした。迷っているなら行動する、その先にはちゃんと道がつづいている…。私の経験が、まさか人に影響を与えとは驚きでした。先日は読者の方からコーチング依頼があり、時間的に無理なのでお断りしようと思いましたが、「いただいたお仕事は、私にできるからやってくる!」と思い直し、引き受けることにしました。久しぶりですが、これもまた私のチャレンジです。さて、次はどんな扉が待っているのか、私自身ワクワクしています。

編集後記



大西 (あっちゃん)

今月もご協力ありがとうございました!毎回、私自身りんりに迷惑をかけながらも、やっと完成。お互いにフォローしあって広報誌を創ってこと、やっぱり好きだな〜
たくさんのお思いが多くの方へ届きますように♪



Lee (リンリン)

今号は最終的にまさこさんが無理なスケジュールを応えてくれて、皆さんにお届けすることができました!取材、制作の醍醐味を味わいながら、皆さんと繋げていけたら〜と思います、次号もよろしくお願ひします。



野原 (しんちゃん)

今号の広報誌は、インタビューに答えてくれているメンバーの人柄がすごく出ていて、作っている僕も「へ〜」「そうだったんだ!!」という驚きが多い号になりました。広報誌を作っていないが、もっともっと皆さんのメンバーと関わっていきたくて思いましたねー。



坂東 (まさこ)

めでたく元旦にお届けすることができた3号!楽しくレイアウトさせていただきました!今回は自分のことも書いていただきましたが、よかったら読んでくださいね!広報誌を通して、さらに皆さんと繋がれると嬉しいです!